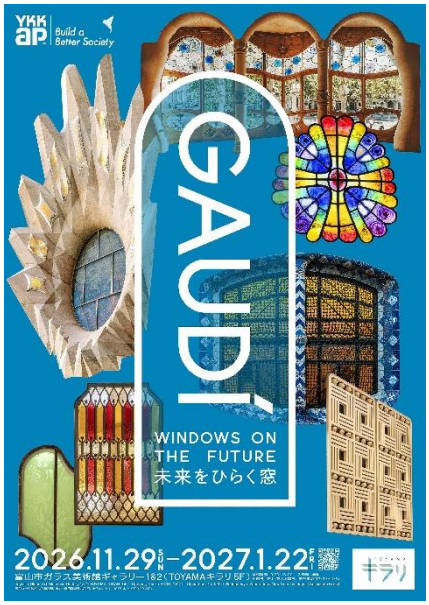
YKK AP News Release ..... 2026 年 11 月 20 日

ガウディ建築の窓を学ぶ展覧会がバルセロナ・東京を経て富山へ巡回

「ガウディ：未来をひらく窓」富山展を 11 月 29 日から開催

東京展で 4.5 万人以上を動員した展覧会を富山市ガラス美術館にて

YKK AP 株式会社（本社：東京都千代田区、社長：魚津 彰）は、アントニ・ガウディ没後 100 年を記念した産学官連携プロジェクトの一環として、展覧会「ガウディ：未来をひらく窓」富山展を、2026 年 11 月 29 日（日）～2027 年 1 月 22 日（金）まで、富山市ガラス美術館ギャラリー1&2（TOYAMA キラリ 5F）にて開催します。



富山展メインビジュアル


東京展開催時の様子

本プロジェクトは、ガウディ建築における「窓」の創造性と革新性を多角的に紹介するものです。メイン会場であるバルセロナ展は、世界遺産のガウディ建築「パラウ・グエル（グエル邸）（※1）」館内で開催。スペイン・カタルーニャ自治政府が推進する「ガウディ・イヤー」や「UNESCO-UIA 世界建築首都（※2）」などの公式プログラムとしても登録され、約半年で約 12.2 万人が来場しました。また、サテライト会場の東京展においても、約 2 か月の開催期間で約 4.5 万人が来場するなど、国内外で高い関心が寄せられました。さらに、YKK AP が特別協賛を行う AIJ 建築文化週間（※3）の建築展覧会 2026「the lives of ephemeral form －建築の不確かな生を記録する」の上映プログラムにおいて、本プロジェクトのドキュメンタリー映像の公開や、トークイベントに本プロジェクトディレクターが登壇するなど、建築文化に貢献する YKK AP の活動の一端を、日本建築学会とのコラボレーションにより発信しました。

そしてこの度、YKK AP が「技術の総本山」と位置付けている富山県にて、巡回展を開催いたします。富山展では東京展のコンテンツに加え、日本とスペインの大学の建築系学部生・大学院生がガウディの窓をテーマに協働した国際デザインワークショップの成果展示（プレゼンテーションパネルや模型、紹介動画など）を日本で初公開します。

富山展終了後は、2027 年 2 月 2 日（火）～3 月 14 日（日）まで、ドキュメンタリー映像や窓の開閉機構の模型など、展示コンテンツの一部を富山県黒部市の「YKK AP 技術館」へ移設し、入場無料にて一般公開する予定です。モノづくりの拠点である富山において、建築文化の発展に継続的に貢献していきます。

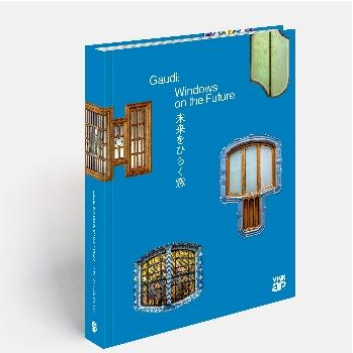
＜参考情報＞

■富山展　概要

［展覧会名］ガウディ：未来をひらく窓
［　会　期　］2026 年 11 月 29 日（日）～2027 年 1 月 22 日（金）
※休館日：第 1・第 3 水曜日、年末年始（12 月 29 日（火）～1 月 3 日（日））
［　会　場　］富山市ガラス美術館ギャラリー1&2（TOYAMA キラリ 5F）
（富山県富山市西町 5-1）
［入 場 料］無料
［主催・企画］YKK AP 株式会社
［施設サイト］https://toyama-glass-art-museum.jp/exhibition/exhibition-7594/

■プロジェクト特別書籍「ガウディ：未来をひらく窓」（会場限定販売）

国内外の著名な建築学者・建築家・専門家らによる寄稿と美しい写真を収めたプロジェクト公式書籍を、富山展会場（TOYAMA キラリ 2F ショップ）にて数量限定で販売します。（スペインの出版社 Triangle Books と YKK AP による共同出版）



■バルセロナ展・東京展の反響

バルセロナ展

世界遺産のガウディ建築「パラウ・グエル（グエル邸）」でのメイン展覧会として 4 月 21 日（火）～10 月 25 日（日）に開催。また、ガウディ没後 100 年となる 6 月に 1 か月限定で毎日「カサ・バトリョ（※4）」にて入場無料イベントを実施し、ガウディが設計したカサ・バトリョの窓をモチーフにしたファスナーストラップを配布しました。また、イベント期間に合わせ、複数のガウディ建築内にて POP-UP 展示も実施しました。さらに UIA 世界建築家会議（※5）の理事会や総会などで、書籍配布やプロジェクト発表を行いました。


©Palau Güell – Diputació de Barcelona

バルセロナ展
「ガウディの窓の系譜図」と窓の開閉機構の模型


©Palau Güell – Diputació de Barcelona

バルセロナ展
模型やステンドグラスが並ぶ「ガウディの窓のアトリエ」





カサ・バトリョの POP-UP 展示と
入場無料イベントで配布したファスナーストラップ



UIA 世界建築家会議 理事会での
プロジェクト発表の様子

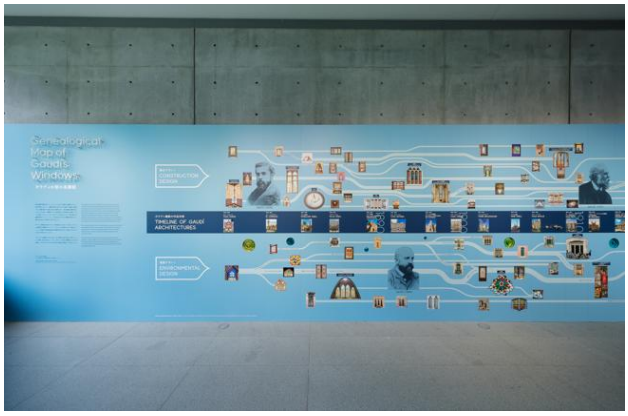
東京展

日本のデザインシーンにおいて常に注目を集める展示や発信をおこなう「21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー3」で 2026 年 5 月 16 日（土）～7 月 12 日（日）で開催され、45,820 名が来場。SNS 上でも「窓から見るガウディの魅力が新鮮」「実物大の触れる模型が素晴らしい」と大きな反響を呼びました。



©小野寺宗貴

東京展　窓の開閉機構の模型



©小野寺宗貴

東京展「ガウディの窓の系譜図」

プロジェクト共通

[特別協力] パラウ・グエル、カサ・バトリョ、サグラダ・ファミリア教会、カサ・ビセンス、カサ・ミラ、
コロニア・グエル教会、グエル公園、ナウ・ガウディ・デ・マタロ、エル・カプリチョ、アストルガ司教館、
カサ・ボティネス博物館、パルマ・デ・マジョルカ大聖堂、ベリェスグアルド

[プロジェクトアドバイザー] ダニエル・ジラルト・ミラクラ

[プロジェクトディレクター・総合キュレーター] 菊池 彩乃（YKK AP 株式会社）

[学術監修] 山村 健（東京工芸大学 准教授）

[空間デザイン] YSLA Architects

[グラフィックデザイン（バルセロナ）] Todojunto

[グラフィックデザイン（東京・富山）] emuni

[特設サイト] https://www.ykkapglobal.com/ja/satellite/window-future/gaudi/

※1:ガウディの最大のパトロン、エウセビ・グエルの自邸。現在はバルセロナ県議会が管理・運営し、一般公開されています。

※2:「UNESCO-UIA 世界建築首都」とは、ユネスコ（UNESCO）と国際建築家連合（UIA）が 3 年に 1 度共同で開催する、都市のアイデンティティと持続可能な都市開発の形成において、建築、都市計画、そして文化が果たす重要な役割を強調する国際イベント。指定都市は、現代の都市計画と建築課題に関する議論の最前線に立つ世界的なフォーラムの場となります。2026 年はスペイン・バルセロナが指定されました。

※3:一般社団法人日本建築学会が、建築の持つ多角的な魅力を社会に伝えることを目的に 1986 年から毎年 10 月に主催しているイベント。全国各地でシンポジウム、建築見学会、展覧会など、建築文化を身近に体験できる様々なプログラムを展開しています。

※4:ガウディがリノベーションをした住宅建築。現在は文化観光拠点として一般公開されています。

※5:国際建築家連合（UIA）が 100 か国以上の各国建築家協会を統合し、3 年に 1 度開催する世界最大規模の建築イベント。著名な建築家、研究者、技術者などが集まり、建築の未来について議論します。今回のバルセロナの会議では、1 万人以上が来場。